

命の大切さ学習教室に参加して

佐藤翔樹くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 12 年7月7日、当時小学3年生の翔樹くんは、登校中、横断歩道を渡っていたところ、信号無視した大型特殊クレーン車にはねられ、亡くなりました。



いそがしい中、山王中に来てくださり、ありがとうございます。

命の大切さ学習教室に参加して僕は、身の周りのキケンや、どのくらい家族に大切にされてきたかということ学びました。

翔樹くんは、車にはねられて、亡くなってしまい、いつもの場所でも、キケンはたくさんあるということも改めて実感したり、翔樹くんが亡くなり、翔樹くんのお母さんがとてもかなしんでいて、どれほど、自分が家族に大切にされていたか、大事にされていたか分かりました。なので、これからも自分の命を大切にしていきたいと思います。そして、このようになかなしい話を忘れないうで、家族や友達を大事にして、簡単に人がきづつく言葉をつかわずに暮らしていきたい、生きていきたいと思っています。

今日は、本当にありがとうございました。

学校名

秋田市立山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 陽

より

命の大切さ学習教室に参加して

佐藤翔樹くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 12 年7月7日、当時小学3年生の翔樹くんは、登校中、横断歩道を渡っていたところ、信号無視した大型特殊クレーン車にはねられ、亡くなりました。



私は、命の大切さ学習教室に参加して、命の大切さや、生きていることのありがたさを改めて感じました。今まで、「もしかしたら自分や家族、友達が事故を起こしたり、巻きこまれたりするかもしれない」ということは頭では分かっていても、正直「き」と自分は大丈夫だろう、という考えがありました。しかし、今回のお話を聞いて、いつ自分や家族、友達が被害者や加害者になってしまうか分からないということを感じました。また、被害者やその家族の悲しさや苦しさ、辛さが痛いほど伝わってきました。話を聞きながら、もし自分、家族、友達がある日突然事故に巻きこまれてしまったら、と想像して、胸がしめつけられるような思いになりました。日頃から家族や友達を大切にいて、1日1日を大切に生きていきたいと思いました。また、将来車を運転するときには、交通ルールをしっかり守り、周りをよく見て運転し、被害者にも加害者にもならないようにしたいと思いました。

学校名

秋田市立山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

佐藤 唯花

より

命の大切さ学習教室に参加して

佐藤翔樹くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 12 年7月7日、当時小学3年生の翔樹くんは、登校中、横断歩道を渡っていたところ、信号無視した大型特殊クレーン車にはねられ、亡くなりました。



今回の講話を聞いて事故で大切な人をなくすことの悲惨さ、自分がこれからも気を付けることなどを再確認することができました。事故で大切な人を失うと、心が壊れてしまったり、外に出ることが怖くなってしまうたりと今までのように生活できなくなってしまう事故に遭った人の家族や周りの人の心にも大きく、深い傷をつけてしまうと分かりました。また、事故のことを話すのは、言い方によってはさらに遺族の方の心に傷をつけてしまうという知り、遺族の方によりそってあげることが何よりも遺族の方が望んでいることだと思いました。

私は 家族や周りの人にたくさん支えてもらっていても、慣れが生じて 1つ1つしてもらったことへの感謝が半端になてしまうことがあります。自分や自分の大切な人がいつかもしかしたら突然 会えなくなってしまうかもしれないということを忘れず 助けてもらったなら必ず「ありがとう」と伝えるようにします。今回は講話会をしてくださって本当にありがとうございました。

学校名

秋田市立 山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

齋藤 美咲

より

命の大切さ学習教室に参加して

佐藤翔樹くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 12 年7月7日、当時小学3年生の翔樹くんは、登校中、横断歩道を渡っていたところ、信号無視した大型特殊クレーン車にはねられ、亡くなりました。



先日は中学校で講話会をしてくださりありがとうございました。「自分の家族が事故にあっでせくなってしまうたら」そう考えてみるだけでもとてもつらい気持ちになりました。普段ニュースで聞く交通事故のことを私は他人事だと思ってあまり深く受けとめていませんでした。ですが、講話会を通して、被害者の方の家族がどんな思いなのか知ることができ、これからはもっとニュースに耳を傾けてみようと思いました。私は実際に交通事故にあった被害者の家族と会ったことはありませんが、この先、交通事故以外でも遺族の方と会う機会があれば少しでも支えることができるそんな存在になりたいと思いました。命の大切さをよく理解することができたので家に帰ったら家族と話をしてみようと思います。最後に、私は佐藤さんの「逃げることも勇気があること」という言葉が深く、強く心に刺さりました。「生きる」ということに感謝をして一日一日を悔いのないように過ごしていきます。本当にありがとうございました。

学校名

秋田市立山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

戸島 潤佳

より

命の大切さ学習教室に参加して

佐藤翔樹くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 12 年7月7日、当時小学3年生の翔樹くんは、登校中、横断歩道を渡っていたところ、信号無視した大型特殊クレーン車にはねられ、亡くなりました。



交通事故というのは周りの人を悲しませるといことがとても分かりました。家族が一人なくなると、その後に生まれできた子どもや、一緒に暮らしてきた人たちの心までも変えてしまうということも分かりました。どれだけ、子どものことを思ったり待ったりしても帰って来ない悲しさ、「あの時、もっと」という悔み気持ちなど、自分の家族に同じことがあったら」と考えるだけで胸が弓張りさけそうな気持ちになります。

僕は今回命は大切だということだけではなく家族を失うことの怖さや悲しさを感じることができました。映像で見た子どもへの母親の涙には考えさせられるものがありました。よく命は大切と聞きますが被害者の方の実体験を聞くと言葉の重みが全然違うように思いました。生きたくても生きられなかった方はこの世にたくさんいて、その人たちのことを考えると、自分の目標に向かって努力することが出来る今に感謝の気持ちでいっぱいになりました。これから先、生きたくても生きられなかった人たちの気持ちもしっかりと理解して生活していきたいです。

学校名

糸田市立山王中学校

氏名 ※氏名を出さない方は記入しないでください。

大友 石人

より